

看護闘争ニュース

NO. 120

2007年11月13日

埼玉県医労連

秋のナースウェーブ 40分で712筆！

11月11日に、秋のナースウェーブをおこないました。あいにくの「雨」でしたが、40分足らずの署名宣伝行動となりましたが、署名の協力者に「バンドエイド」、子供には風船をプレゼントして、増員を訴えました。この行動には、8単組2支部から54名が参加し、署名は712筆集まりました！



またたく間に1,923筆 増員新署名 －街頭4ヶ所でいっせいに－

秋田県医労連・秋厚労ニュースより

10月13日（土）、10時から12時まで、県内4ヶ所で一斉に街頭署名活動が行われました。「医師・看護師確保を法律にする署名」を手し、全県で75人の仲間が道行く人に呼びかけたところ、瞬く間に1,973筆が集まりました。

励ましの声に寒さ忘れる

大館市御成町にある、いとくショッピングセンター前では、天候には恵まれたものの、非常に肌寒い中、22人の署名員は約2時間にわたり、元気よく署名を呼びかけました。その甲斐あって、643筆の署名を集めることができました。

順番を待ってまで署名をしてくれる方もいれば、定年退職された元看護師さんからは「本当に医療現場は大変だよ、私一人では何筆でもかけたらいいのに」といった声や、議員とみられる方から「私も議会で頑張るからね」との声もいただきました。その他、「うちの子も、月に1回、秋大に通っているんです。だから、足りないのはよく分かります」「私の息子も医師なので、その深刻さはよく分かります。頑張ってください」など、暖かい励ましの声で、いつの間にか肌寒さも忘れていたほどでした。

一方、「深刻さは分かりますが、今の医療現場には技術よりも人間性の乏しさを感じています。こうした増員だけではますます質の低下が懸念されます。だから署名はできません」という声もありました。こうした貴重な声を真摯に受け止め、増員という「量」と、技術・人間性という「質」の両面の充実を図っていきましょう。(M)

岡山県医労連

新署名スタート 倉敷美観地区はやっぱり取れます！

9月から「医師・看護師を増やして下さい」署名を本格的にスタートしました。県医労連も定例宣伝を計画し、9月29日には倉敷美観地区で行いました。45分程度でしたが312筆がよせられました。「母が入院していたから看護師さんの大変さはよくわかる」「子どもが病気のときは、本当に不安です」など快く署名に応じてくれました。大きなプラスターに歩みよる観光客もいました。倉敷から参加した看護師は「平和行進」に参加した息子さんと一緒に参加し、観光客に元気よく「お願いします」と訴えていました。組織内の動きは、これからですが早急に各職場に署名用紙を降ろし、入院・外来患者さんをお願いしましょう。

岡山市・倉敷市・早島町で意見書採択

増員署名が参議院で採択されたことをうけて、自治体から「実行ある対応をして下さい」との意見書を国にあげる旨の請願・陳情に取り組んでいます。9月議会では、岡山県・岡山市・倉敷市・早島町に提出し、岡山県以外で採択されました。倉敷市では公明党が紹介議員になり、岡山市でも公明党議員が反対の姿勢でしたが、以外の会派が全部賛成の中で採択時は賛成となり採択しました。新しい動きです！

今後は、12月議会に向けて提出する予定です。

要求は共通！未組織の病院でも協力

9月末、津山周辺の病院・診療所に、「2年課程通信」と一緒に署名のお願いを同封しました。1週間後には早速署名が2枚返送されて来ました。要求の切実性を感じました。



署名はすでに459筆！

倉敷医生協労組の264筆を先頭に、各単組・支部でも奮闘中です。



新「増員署名」
続々集まっています！

アメリカで看護師5千人がスト

海外労働短信

医療会社サティ・ヘルス・ネットワーク社が、カリフォルニア州内で経営する15の病院で、看護師約5,000人が10月11日早朝から48時間ストに突入し、医療給付引き下げ反対や人員増などを訴えた。

労使は今年4月から協約改定交渉を重ねてきたが、賃上げについては合意したものの、病院側が医療給付引き下げを主張し労組と対立している。看護師は休憩や食事に入る時に、現場の人員を今より増やすことも要求している。